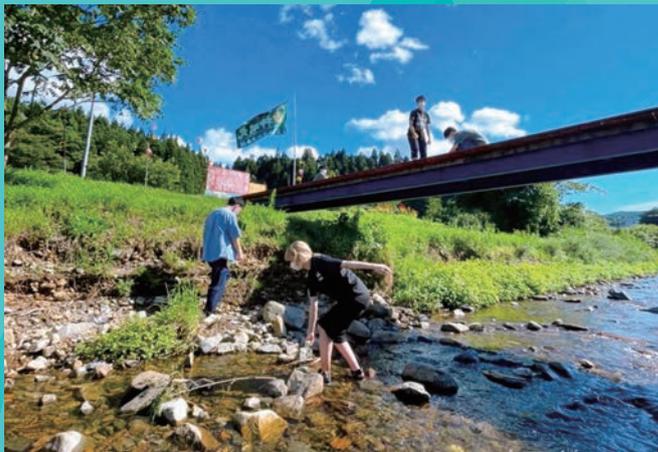


ボランティアで、
世界を変える。
自分を変える。



2022年度 報告書



中央大学ボランティアセンター

目次

● ご挨拶	1
● 概要	2
● 利用集計	3
● 取組記録	4
● 活動報告	7
1. 主催・共催事業	7
①被災地・復興支援活動	7
②地域活動	8
③講座・説明会等	11
2. ボランティアセンター公認学生団体	13
①被災地・復興支援活動	14
面瀬学習支援	14
ふらっと真備	15
②地域活動	16
チーム防災	16
りこボラ!	18
3. 学生スタッフ	20
● 協定・助成金／メディア掲載	21

ボランティアセンター長 / 副学長 (学生総合支援担当) / 学生部長 鳥居 伸好



2022年度も、相変わらずコロナ感染症の影響を受けたとはいえ、大学の授業が基本的に対面授業となり、大学キャンパス内外での活動も、コロナ前の状況に戻つつあります。その点を考えれば、ウィズコロナでの活動を念頭に置きながら、いかにボランティア活動支援を継続するのか、またいかに活動のさらなる活性化に寄与できるのが課題となります。このような課題にたいして、2022年度の活動がどれほどそれに応えられたのかが、まず問われます。公認学生団体の活動支援については、2021年度をもって活動を収束した団体が複数あり、数が減少したとはいえ、2022年度における既存の学生団体の活動状況に鑑みれば、ボランティアセンターによる活動支援は、ボランティアを通しての学びや人間力の向上に資するところが大きかったといえます。そのことに関しては、2021年度に設立された学生スタッフの貢献も看過できません。学生スタッフは、2022年度の追加募集もあり、増員された学生スタッフによって企画運営されるボランティア活動はもとより、学生スタッフ独自のビジョンに基づいた積極的な活動は、ボランティアセンターに関わる学生活動として重要な役割を担っています。また、2022年度には、「中央大学ボランティアセンタービジョン」が作成され、ビジョンに基づいた活動支援の広がりも期待されています。さらに、2022年度に編成された2つの検討ワーキングにより、活動支援の広がりに関する具体的な対応策の検討がなされたことは、2023年度の茗荷谷キャンパスへの法学部移転に伴うボランティア活動の広がりを支援する体制づくりのさきがけと位置づけることができます。学生の皆さんがボランティア活動を通して自らを成長させ、学ぶことのできる様々な機会を提供する役割を担うボランティアセンターの活動は、その活動にご理解とご支援をいただく皆さまのご協力が支えとなっています。2022年度においてご協力いただきましたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。また、今後期待されますボランティア活動の広がりに伴うボランティアセンターの支援活動につきましても、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ボランティアコーディネーター 開澤 裕美



2022年度は、with コロナの中、手探りながらもできることを一歩ずつ進めていき、ボランティア活動のあるべき姿へ再挑戦していった一年だったかと思います。当センターとしての2022年度の大きな出来事として、2つ挙げさせていただきます。

1つは、中央大学ボランティアセンターが2013年に設立して10年目を迎えたこともあり、改めてセンターとしてのビジョンを創ったことです。世界も社会も変わっていく今、大学におけるセンターとしての座標となるビジョンに基づき、今後も地域と学生の架け橋となるセンターとして、邁進していきたいと思っております。

もう1つは、学生の活躍によって、これまで以上に地域の皆さんと広く深くつながることができたことです。2年目となる学生スタッフや公認学生団体が積極的に地域に出ていき、丁寧に関係性を紡いでくれたことを素直に嬉しく感じています。これからも皆さんとともに楽しみながら地域課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

私は、「ボランティアとは、非効率だけれども確実に人と社会を変えていくもの」だと感じています。4年間という限られた学生生活の中、ボランティアで変えられるものは微々たるものかもしれませんが、その経験は間違いなく学生と社会を良い方向に変えていっていると確信しています。

2022年度も、学生の想いを形にすべくご協力いただいたすべての皆さまに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

概要

● 設立のあゆみ

- 2011年3月 学生部学生課主導で構内募金活動実施
- 2011年8月 学生課主催により学生ボランティアを宮城県気仙沼市に派遣
- 2012年4月 東日本大震災被災地支援団体ネットワーク設立
- 2013年4月 ボランティアステーション設置
- 2015年4月 ボランティアセンター設立

● ビジョン

2022年6月より中央大学ボランティアセンター Vision を策定しました。

中央大学は建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」教育と研究を発展させるとともに、「行動する知性。Knowledge into Action」というユニバーシティ・メッセージを掲げ、教育研究活動を通じて広く社会に貢献することに努めてきました。それに加えて、社会連携と社会貢献それ自体を新たな使命として位置づけ、これを「中央大学の社会連携と社会貢献に関する理念」として公表しています。ここでいう「社会」とは、大学が存在するキャンパス周辺の地域社会から、日本社会全般、さらにはグローバルな諸課題を抱える社会までを含みます。中央大学ボランティアセンターは、地域等の多様なコミュニティと連携し、そのニーズに応じた活動を展開すると共に、活動の中で社会の課題を新たに発見し解決に向けた行動を自ら起こすことのできる学生の育成に努めるべく、以下のようにビジョンを定めます。

1. 学生一人ひとりが持つ可能性を信じ、寄り添いながら、学生主体の活動を支援する
2. 学生が社会課題を知り自らの経験を言語化する過程を支援し、学生の新たな学びへとつなげる機会を提供する
3. 学生がボランティア活動を通じて社会の多様性の意義を学び、グローバルな視野をもって活躍できるように支援する
4. ボランティアの意義や魅力を学生とともに発信し、社会の変革と発展に寄与する

● 運営委員

一号委員	経済学部	鳥居 伸好	三号委員	文学部	山科 満	四号委員	学生部事務室	山ノ井和哉
二号委員	国際経営学部	国松 麻季		理工学部	田口 善弘		学生生活課	岡田 健二 (~6/30)
三号委員	法学部	西 亮太		総合政策学部	宮下 紘	五号委員	学生生活課	開澤 裕美
	経済学部	大羽 良	国際経営学部	陳 建安				
	商学部	中村 亨		国際情報学部	松崎 和賢			

● 公認学生団体 顧問

面瀬学習支援	法学部	西 亮太	ふらっと真備	経済学部	鳥居 伸好
	法学部	猪俣 孝史	りこボラ!	理工学部	田口 善弘
チーム防災	商学部	中村 亨			

● 活動内容

被災地・復興支援活動

被災地の一刻も早い復興を願い、学生ボランティアによる支援を行っています。被災地支援ボランティアを行う学生への活動費補助やボランティアセンター主催のプログラムを実施しています。

また、東北学院大学を拠点校におく「大学間連携災害ボランティアネットワーク」に加盟しています。

【ボランティアセンター公認学生団体】

- 面瀬学習支援（宮城県気仙沼市面瀬／学習支援）
- ふらっと真備（岡山県倉敷市真備町／水害防災啓発活動）

地域活動

環境・農業・福祉・まちづくりなど、近隣の社会福祉協議会や団体などのボランティア情報を提供しています。また、ボランティア初心者の方でも参加しやすい企画を実施したり、地域の方々と協働するイベントやコミュニティづくりなどを行っています。

【ボランティアセンター公認学生団体】

- チーム防災（多摩キャンパス周辺／防災啓発活動）
- りこボラ！（後楽園キャンパス周辺／ボランティア啓発活動）

【多摩キャンパス実績】

- クリーン大作戦（キャンパス内外でのごみ拾い）
- せせらぎ農園（コミュニティーガーデンでの農作業）
- フェュージョン長池（長池公園での里山保全作業）
- ほっこり食堂（子ども食堂での食料品・物品配布）

【後楽園キャンパス実績】

- ちんじゅの森（畑や庭の手入れ）
- さきちゃんち（コミュニティースペースでのイベント開催）
- 地域での高齢者向けスマホ教室

ボランティア育成プログラム

初めての人から経験者まで、ボランティア活動がより充実するための、スキルアップ講座を実施しています。

学生スタッフ

ボランティアセンターの運営を学生目線から支える学生スタッフ制度を2021年度より開始しました。ボランティアセンター主催プログラムの企画から運営、ボランティアの魅力を伝える活動など、学生目線を生かしたプログラムを実施しています。

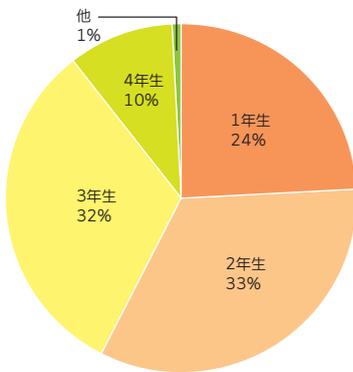
利用集計

ボランティアセンター相談者数統計

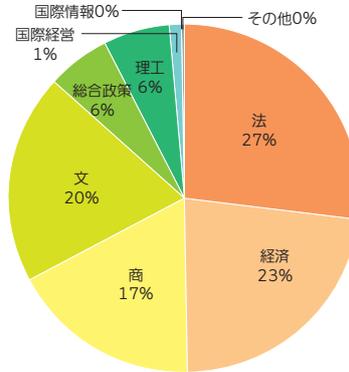
● 相談者数 (人)

月	相談者	内訳	男	女	法	経	商	文	総	理	国経	国情	その他	1	2	3	4	他
4月	148	オンライン 対面	54 94	66 82	25 28	22 26	5 37	5 0	0 0	9	65	49	17	8				
5月	157	オンライン 対面	16 141	77 80	28 38	33 37	8 13	0 0	0 0	32	48	64	11	2				
6月	242	オンライン 対面	6 236	117 125	70 58	41 60	8 2	3 0	0 0	77	70	78	17	0				
7月	139	オンライン 対面	6 133	66 73	41 32	24 26	7 5	2 0	2 2	41	36	45	16	1				
8月	49	オンライン 対面	22 27	23 26	10 12	13 9	4 0	1 0	0 0	13	18	18	0	0				
9月	111	オンライン 対面	10 101	59 52	30 21	25 17	8 10	0 0	0 0	19	42	36	14	0				
10月	264	オンライン 対面	24 240	127 137	84 55	44 53	25 3	0 0	0 0	74	79	83	28	0				
11月	256	オンライン 対面	6 250	120 136	75 61	41 39	20 19	0 1	0 0	79	90	67	18	2				
12月	129	オンライン 対面	1 128	55 74	39 36	24 19	6 2	3 0	0 0	33	51	35	10	0				
1月	87	オンライン 対面	15 72	38 49	20 23	14 22	3 3	2 0	0 0	21	24	27	15	0				
2月	33	オンライン 対面	10 23	14 19	15 8	2 5	1 2	0 0	0 0	6	19	5	3	0				
3月	64	オンライン 対面	2 62	26 38	18 11	8 16	4 6	1 0	0 0	6	17	28	13	0				
合計	1679	オンライン 対面	172 1507	788 891	455 383	291 329	99 102	17 1	2	410	559	535	162	13				

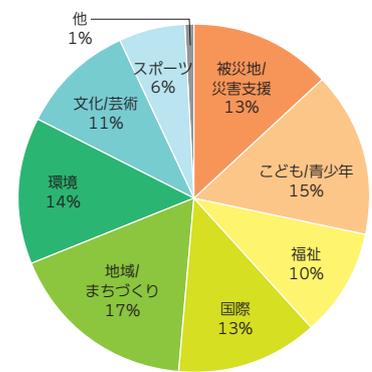
● 学年別割合



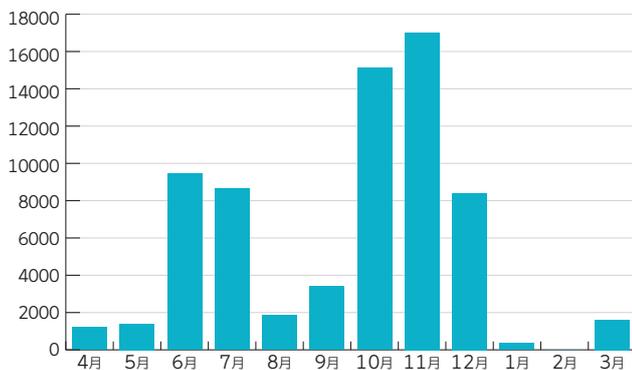
● 学部別割合



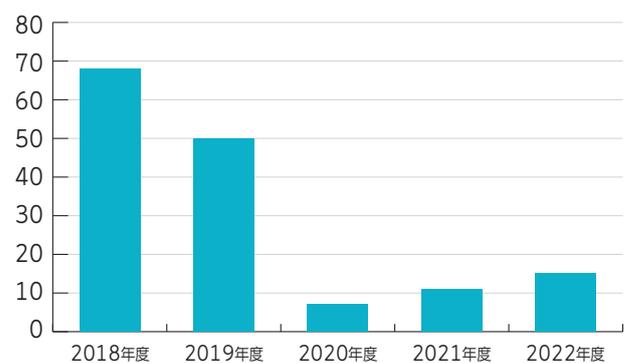
● 興味のある分野別割合



● ボランティアセンタールーム利用記録(分)



● ボランティアセンタールーム本貸出記録(冊)



取組記録

1. 主催・共催事業

① 被災地・復興支援活動

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
福島スタディーツアー	現地で活動される方とともに福島県双葉郡の3町(富岡町、双葉町、大熊町)を回り、福島のいまを知り、自分たちができることを考える	8/29(月)~8/31(水)	3	19
宮城県丸森町冬ボラ	2019年10月に発生した台風19号の被害を受けた宮城県伊具郡丸森町にて、竹林整備・道路側溝の土砂払い等のボランティア活動	12/25(日)~12/27(火)	3	16
福島県双葉郡大熊町における春ボラ	福島県双葉郡大熊町でのボランティア活動 住民の方々との交流、現地団体・企業の方々との大熊町の未来を考える課題解決ワークショップ等	2/19(日)~2/21(火)	3	9
小計			9	44

② 地域活動

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
八王子チャリティーウォーク	歩く国際協力 [Walk in her shoes] に参加、八王子市内でチャリティーウォーク	5/21(土)	1	12
クリーン大作戦・春の陣	八王子市東中野自治会谷津入支部のみなさんと多摩キャンパス周辺のゴミ拾い、草刈り	5/29(日)	1	21
文京区チャリティーウォーク	歩く国際協力 [Walk in her shoes] に参加、文京区内でチャリティーウォーク	5/29(日)	1	20
CVC 版夏ボラ・後楽園キャンパス周辺 【福祉編】 さきちゃんち	ワークスペースさきちゃんちにて理科実験教室を企画・運営	8/3(水)	1	7
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【農業編】 せせらぎ農園	コミュニティガーデンせせらぎ農園にて農作業	8/4(火)	1	11
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【子ども編】 みなみだいら児童館ぶらねっと1	みなみだいら児童館ぶらねっとにて子どもたちと遊ぶ	8/5(金)	1	5
CVC 版夏ボラ・後楽園キャンパス周辺 【ブース出展編】 文京区夏ボラ ブース出展	文京区社会福祉協議会による夏ボラにて、環境教育のブース出展・運営のお手伝い	8/6(土)	1	7
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【福祉編①】 ほっこり食堂1	ほっこり食堂にて、フードパントリー、子ども食堂のお手伝い	8/8(月)	1	3
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【子ども編】 みなみだいら児童館ぶらねっと2	みなみだいら児童館ぶらねっとにて子どもたちと遊ぶ	8/19(金)	1	5
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【福祉編②】 ほっこり食堂2	ほっこり食堂にて、フードパントリー、子ども食堂のお手伝い	8/22(月)	1	4
愛宕かえで館多世代イベント	多摩市のコミュニティセンターにて、地域の子ども向けイベントを企画・運営	8/20(土)	1	16
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【福祉編③】 東京光の家1	視覚障がい者施設東京光の家にて利用者の作業準備や検査のお手伝い	8/26(金)	1	3
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【福祉編④】 東京光の家2	視覚障がい者施設東京光の家にて利用者の作業準備や検査のお手伝い	9/2(金)	1	5
CVC 版夏ボラ・後楽園キャンパス周辺 【環境編①】 ちんじゅの森	コミュニティサロンちんじゅの森にて畑や庭の手入れ	9/5(月)	1	3
CVC 版夏ボラ・多摩キャンパス周辺 【環境編】 フュージョン長池	長池公園にて環境整備・里山保全作業	9/12(月)	1	13
CVC 版夏ボラ・後楽園キャンパス周辺 【環境編②】 坂道の会	文京区ロードサポート [坂道の会] と後楽園キャンパス周辺の植栽の手入れ、清掃	9/12(月)	1	11
南鶴巻小学校 防災イベント	多摩市立南鶴巻小学校のPTA企画イベントとして、希望児童を対象とした防災イベントの企画・運営	9/14(水)	1	11
愛宕かえで館 かえで館まつり	多摩市のコミュニティセンターが実施するお祭りイベントの運営手伝い	10/8(土)~10/10(月)	3	17
大栗川キャンドルリバー	八王子市由木地域のイベントにて、企画・運営の手伝い	11/12(土)、11/13(日)	2	20
クリーン大作戦・秋の陣	八王子市東中野自治会谷津入支部のみなさんと多摩キャンパス周辺のゴミ拾い、草刈り	11/27(日)	1	16
愛宕第2住宅 団地再生プロジェクト	愛宕第2住宅の交流拠点にてマルシェ開催の手伝い、ボードゲームの企画・運営	12/17(土)	1	6
CVC 版春ボラ・多摩キャンパス周辺 【子ども&福祉編】 ほっこり食堂1	子ども食堂にて子育て家庭への食料や物品配布の手伝い	2/27(月)	1	5
CVC 版春ボラ・多摩キャンパス周辺 【子ども&環境編】 みなみだいら児童館ぶらねっと	児童館にてペットボトルを使った作品作りを企画運営	3/11(土)	1	4
CVC 版春ボラ・多摩キャンパス周辺 【地域&居場所編】 愛宕団地再生プロジェクト	団地内での居場所作り。地域住民とベンキ塗りやDIY	3/12(日)	1	14
CVC 版春ボラ・多摩キャンパス周辺 【子ども&福祉編】 ほっこり食堂2	子ども食堂にて子育て家庭への食料や物品配布の手伝い	3/13(月)	1	6
東京都立小石川中等教育学校 避難所運営ゲーム HUG	高校生を対象とした防災授業における避難所運営ゲーム HUG のサポート	3/16(木)	1	6
CVC 版春ボラ・多摩キャンパス周辺 【地域&お祭り編】 竹たままつりブース出展・ レモネードスタンド	八王子市社会福祉協議会由木ネット主催のイベント「竹たままつり」でのブース出展、レモネードスタンドの運営等	3/21(火)	1	9
CVC 版春ボラ・多摩キャンパス周辺 【福祉編】 視覚障がい者理解・手話イベント	学生対象の聴覚障がい者理解と手話イベントを企画運営	3/27(月)	1	14
小計			31	274

③ 講座・説明会等 (オンライン・対面)

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
学生スタッフ説明会 1	募集する学生スタッフの活動内容、応募条件、選考スケジュール等についての説明会	4/15(金)	1	5
学生スタッフ説明会 2	募集する学生スタッフの活動内容、応募条件、選考スケジュール等についての説明会	4/19(火)	1	18
公認学生団体・学生スタッフ スタートアップセミナー	2022年度の体制、2022年度の活動予定、フィールドノートについて、組織を動かすことについて等を説明、交流	5/7(土)	1	30
オンライン・ボラカフェ #2 ボランティアってどんなもの??	ボランティアについての基本的な説明や、内容、種類、魅力などを説明	4/28(木)	1	2
オンライン・ボラカフェ #3 分野別ボランティア紹介①	環境、農業、子どもに関するボランティアの紹介	5/6(金)	1	3

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
オンライン・ボラカフェ #4 分野別ボランティア紹介①	環境、農業、子どもに関するボランティアの紹介	5/10(火)	1	7
オンライン・ボラカフェ #5 分野別ボランティア紹介②	国際、地域活性化、福祉、災害、オリパラに関するボランティアの紹介	5/13(金)	1	6
オンライン・ボラカフェ #6 分野別ボランティア紹介②	国際、地域活性化、福祉、災害、オリパラに関するボランティアの紹介	5/18(水)	1	9
連続ボランティア講座 vol.1	キャリアコンサルタント滝井 元視氏による講座 『公務員に求められる力』とボランティア活動 就活や公務員試験で問われること	6/10(金)	1	38
連続ボランティア講座 vol.2	NPO 法人プラス・アーツ理事長 永田 宏和氏による講座 正しいよりも楽しく！ ～防災活動の担い手を地域で育てるための秘訣とは～	6/17(金)	1	32
連続ボランティア講座 vol.3	中央大学 OB 谷村一成氏、OG 祖父江なつみ氏による講座 卒業生の活躍から学ぶ ボランティア経験をどのように社会で活かすか？	6/25(土)	1	30
夏ボラ説明会 1	夏休みにできるボランティアの紹介	6/28(火)	1	27
夏ボラ説明会 2	夏休みにできるボランティアの紹介	6/30(木)	1	29
傾聴 & コミュニケーション講座	学生相談室カウンセラー・臨床心理士の竹部友子氏による、 「傾聴」の基本姿勢とコミュニケーションのコツを学ぶワークショップ	7/9(土)	1	28
公認学生団体・学生スタッフ 決起集会	情報・課題共有	7/9(土)	1	31
夏ボラ・福島スタディツアー参加者向け・ 事前勉強会	ボランティアについて、心構え、参加するボランティアの背景、課題、目的、個人の目標設定と共有	7/29(金)、8/1(月)、 8/2(火)、8/4(木)、 8/23(火)	5	84
夏ボラ・福島スタディツアー参加者向け・ 事後勉強会	グループワークを通じて自分の参加したボランティアを言語化する	9/20(火)、9/27(火)、 9/30(金)、10/3(月)	4	93
宮城県丸森町・冬ボラ 事前説明会 (オンライン)	12/25 ~ 27 の宮城県丸森町・冬ボラの活動概要について、参加希望者を対象とした説明会	11/8(火)、11/10(木)	2	20
宮城県丸森町・冬ボラ オリエンテーション	12/25 ~ 27 の宮城県丸森町・冬ボラの参加者を対象としたオリエンテーション	11/25(金)、11/29(火)	2	16
日本における難民・入管問題を知る ～私たちにできること～	白門一新会、BOND との共催による難民・入管問題の講演、 学生スタッフ 2 名によるトークセッション、参加者の感想共有	12/10(土)	1	68
春ボラ・事前説明会 & ボラカフェ	春休みにできるボランティアについての説明と紹介、ボランティア経験者の学生より体験の共有	1/25(水)	1	19
ウクライナ難民支援プログラム報告会	「The Volunteer program for Ukraine」(外部団体主催プログラム)に参加し、 ウクライナ近隣国にて避難民支援を経験した学生 3 名による報告会	2/12(日)	1	14
春ボラ・事前勉強会	ボランティアについて、心構え、参加するボランティアの背景、課題、目的、個人の目標設定と共有	2/6(月)、2/16(月)、 3/5(日)	3	55
春ボラ・事後勉強会	グループワークを通じて自分の参加したボランティアを言語化する	3/14(火)、3/22(水)、 3/23(木)、3/28(金)、 3/29(土)	5	45
ボラセン総会議	学生スタッフと公認学生団体の 4 年生による下級生に向けた企画、4 年生より体験談の共有、 テーマごとにグループで話し合い	3/22(水)	1	17
		小計	40	726

2. ボランティアセンター公認学生団体

① 被災地・復興支援活動

● 面瀬学習支援

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
夏活動・スタディーツアー	気仙沼スタディーツアー、面瀬小学校の児童を対象とした学習支援・レクリエーション (川遊び、緑日)	8/17(水)~8/20(土)	4	22
冬活動・スタディーツアー	気仙沼スタディーツアー、面瀬小学校の児童を対象とした学習支援・ レクリエーション(スノードーム作り、カルタ大会)	12/26(月)~12/29(木)	4	23
春活動	面瀬小学校の児童を対象とした学習支援・レクリエーション (ふれあい農園外遊び)	3/28(火)~3/30(金)	3	13
		小計	11	58

● ふらっと真備

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
スタディーツアー	新メンバーに岡山県倉敷市真備地区の被害等および現状を理解してもらうことを目的とした スタディーツアー、現地ボランティアのお手伝い	6/25(土)~6/26(日)	2	5
オンラインイベント	真備町出身の 2 名のゲストスピーカーより、水害の経験から何を学んだかのお話を向う、 防災ゲーム「クロスロード」を通じて防災への備えを学ぶ	3/20(木)	1	10
		小計	3	15

② 地域活動

● チーム防災

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
府中第一中学校 防災授業	特別支援学級での防災授業	7/9(土)	1	8
カエルキャラバン	イオンモール多摩平の森にて防災啓発活動	8/18(木)	1	5
放課後デイサービスシエル 防災啓発活動	障がい児向け放課後デイサービス「シエル」の教室にて 防災すごろく・非常持ち出し袋競争等を通じた防災啓発活動	8/24(水)	1	9
イオンモール多摩平の森 防災緑日	イオンモール多摩平の森にて災害に関する知識とお祭り要素を組み合わせた 防災緑日(防災おみくじ、防災さかな釣り等)を実施	9/18(日)、9/19(月)	2	5
日野市民でつくる防災・減災シンポジウム	「災害時要配慮者の避難」をテーマに日野市はいざというとき どのような配慮が必要なのかを議論する日野市主催シンポジウムに運営として参加	10/9(日)	1	6
日野市総合防災訓練	日野市が実施する防災に関する展示や体験を交えた防災訓練に運営として参加、 日野市立第六小学校にて毛布担架のプースを担当	10/22(土)	1	7

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
日野市立日野台高等学校にて 防災に関する講話	高校生に向け熊本豪雨で学んだ教訓について講話	11/2(水)	1	1
白門祭出展	防災クイズに答えながら進んでいく、手作り迷路を出展	11/5(土)、11/6(日)	2	12
第1回ながぶさこどもまつり	八王子市主催のながぶさこどもまつりにて、防災釣りゲーム、紙風船作りのブースを出展	12/3(土)	1	6
南平高等学校 避難所運営ゲーム HUG	東京都立南平高等学校の1年生の授業にて避難所運営ゲーム HUG を実施するにあたり、 ゲームの補助サポート	12/21(水)	1	4
豊田小学校 初動避難訓練	日野市立豊田小学校で実施される避難訓練に参加し、地域の方と共に避難所の開設と初動について学ぶ	2/25(土)	1	6
東北スタディーツアー	宮城県内にある震災関連施設を訪問、語り部から話を伺い改めて東日本大震災について学ぶ	3/17(金)~3/19(日)	3	10
		小計	16	79

● りこボラ！

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
交流会 (オンライン)	りこボラ！活動内容の説明会	4/1(金)	1	125
りこボラ！第1回ボラカフェ (オンライン)	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	4/10(日)	1	27
りこボラ！第2回ボラカフェ (オンライン)	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	5/8(日)	1	7
りこボラ！クリーン大作戦・春の陣	後楽園キャンパス周辺の清掃	5/8(日)	1	29
クリーン作戦「ごみマップを作ろう！」	後楽園キャンパス周辺の清掃、ごみマップの作成	5/22(日)	1	20
夏合宿	野尻湖セミナーハウスにて今後の活動についてミーティング	9/15(木)~9/17(土)	3	26
ボラカフェ 東洋大学コラボ	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	10/9(日)	1	8
りこボラ！&立教大学 YMCA コラボ企画 ゴミ拾い	立教大学 YMCA と合同で、立教大学 池袋キャンパス周辺から豊島清掃事務所のゴミ拾い	10/15(土)	1	8
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	10/23(日)	1	18
シニア対象スマホ教室	シニア世代を対象にスマホ・LINE の使い方を教え、世代間交流を図る	10/30(日)	1	5
大学祭出展 (後楽園キャンパス)	ウクライナ支援のための上映会、募金活動	11/5(土)、11/6(日)	2	46
活動見本市 2022	文京区社会福祉協議会主催「活動見本市 2022」に登壇	11/19(土)	1	4
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	11/20(日)	1	6
りこボラ！ボラカフェ	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	11/24(木)	1	23
磯川マラソン 運営ボランティア	文京区磯川地区で行われた第46回磯川マラソンの運営手伝い	11/27(日)	1	17
企画を創ろうワークショップ①	社会課題を解決するために、自分の「何かしたい」企画を創り上げ、実行するまでの過程を学ぶ	12/7(火)	1	13
企画を創ろうワークショップ②	社会課題を解決するために、自分の「何かしたい」企画を創り上げ、実行するまでの過程を学ぶ	12/12(月)	1	7
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	12/18(日)	1	5
冬合宿	富浦臨海寮にて今後の活動、来年度の体制についてミーティング	2/8(水)~2/10(金)	3	30
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	2/19(日)	1	9
池袋でごみ拾い with ひつじぐも 立教大学 YMCA	ひつじぐも、立教大学 YMCA と合同で、 立教大学 池袋キャンパス周辺から豊島清掃事務所のゴミ拾い	2/25(土)	1	9
ちんじゅの森	「ちんじゅの森」にて田畑の整備、ウッドデッキの塗装、古い樽の解体 日本古来の伝統や文化の大切さを実感し学ぶ	3/4(土)	1	9
りこボラ！×Project COOP 合同ゴミ拾い @多摩キャンパス	Project COOP と合同で多摩キャンパス周辺のゴミ拾い	3/12(日)	1	18
りこボラ！×Project COOP 合同ゴミ拾い @後楽園キャンパス	Project COOP と合同で後楽園キャンパス周辺のゴミ拾い	3/13(月)	1	24
文京区立柳町小学校イベント	文京区立柳町小学校にて子どもたちと一緒に段ボールでプラネタリウム作り、鑑賞会	3/18(土)	1	18
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	3/19(日)	1	5
スマホ教室 (文京区民センター)	シニア世代を対象にスマホ・LINE の使い方を教え、世代間交流を図る	3/20(月)	1	4
スマホ教室 (向丘町会)	シニア世代を対象にスマホ・LINE の使い方を教え、世代間交流を図る	3/23(木)	1	4
		小計	33	524

3. 学生スタッフ

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
白門祭出店	写真展、ボランティア活動をしてきた4年生と学生スタッフによるトークセッション	11/5(土)、11/6(日)	2	19
企画を創ろうワークショップ	社会課題を解決するために、自分の「何かしたい」企画を創り上げ、実行するまでの過程を学ぶ	11/25(金)	1	12
春合宿	富浦臨海寮に宿泊し、来年度の体制やキャンパス間の関わり等、今後の活動について話し合い	2/24(金)~2/26(日)	3	12
		小計	6	43

4. 外部での報告・発表等

① 学生

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
文京区大学間報告会・交流会 文京区「大学生による地域活動」 報告会・交流会	文京区内の6大学が集まる報告会にて、 りこボラ！が「学生ボランティア活動と地域が求めるもの」をテーマに活動内容を発表	3/16(木)	1	14
		小計	1	14
		合計	150	1777

② 職員

活動タイトル	活動概要	実施日	活動 日数	学生 参加人数
中央大学学生会長野県中支支部 創立70周年記念式典	中央大学学生会長野県中支支部創立70周年記念式典への参加	7/3(日)	1	0
宮城県社会福祉協議会主催 ボランティアコーディネーター研修会	コーディネーターが講師として参加し、 「地域住民が動き出す原動力を探る～学生ボランティアのコーディネーションから学ぼう～」を講演	10/5(水)	1	0
		小計	2	0

1. 主催・共催事業

① 被災地・復興支援活動

● 福島スタディーツアー

東日本大震災から11年が経過してもなお、帰宅困難地域を抱え故郷に帰ることができない福島県双葉郡において、「東京の大学生だからこそできること」を考えていくためのスタディーツアーを実施しました。富岡町・大熊町・双葉町の3町にてそれぞれ現地で社会課題に向き合った活動をされている方々にご案内いただき、原発・コミュニティ・地域再生・復興について考える3日間となりました。

実施日	内容	参加者	助成
8月29日(月) ～31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 地域で社会課題に向き合った活動をされている方々のお話を聞き現地を巡る 自分たちにできることを考える 	学生 19 教職員 2	日本財団ボランティアセンター



【中間貯蔵工事情報センターの見学】



【富岡町を自分たちの足で巡り学ぶ】

● 宮城県丸森町冬ボラ

2019年10月に発生した台風19号の被災地である宮城県伊具郡丸森町において、中央大学ボランティアセンターとして3度目となるボランティア活動を実施しました。コロナ禍により復旧作業が遅れており、台風から3年が経過した現在もまだボランティアの必要性を感じました。被災地支援という側面だけでなく、限界集落や里山保全といったあらゆる角度から社会課題について身を持って学ぶプログラムとなりました。

実施日	内容	参加者	助成
12月25日(日) ～27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 阿武隈川沿い・筆甫地区にて竹林整備 道路側溝の土砂払い 	学生 16 職員 1	朝日新聞厚生文化事業団 日本財団ボランティアセンター



【参加学生の集合写真】



【道路側溝の土砂払い】

● 福島県大熊町における春ボラ

8月に実施したスタディーツアーでの学びをもとに、福島県双葉郡大熊町にてボランティア活動を行いました。初日は現地への受け入れ先の方々にご同行いただき現地を巡り、大熊町の被災当時のお話や現状について学び、2日目は、町民の方々との交流、最終日は地元の企業・団体の方々で大熊町の未来を考えるワークショップを実施しました。たくさんの課題と様々な立場の方々との意見に触れ、学生たちにとって大変刺激となる3日間になりました。

実施日	内 容	参加者	助 成
2023年 2月19日(日) ～21日(火)	・スタディーツアー ・地域住民の方々との交流 ・大熊町の団体・企業との課題解決ワークショップ	学生 9 職員 1	日本財団ボランティアセンター



【ニュースポーツ大会】



【課題解決ワークショップ】

② 地域活動

● CVC 夏ボラ

多摩キャンパス周辺および後楽園キャンパス周辺にて、2022年度は対面での夏ボラを実施することができました。子ども食堂でのプログラムは初めての開催でしたが、参加希望者が多く、学生の関心の高さを感じました。1日のみの活動ですが、受け入れ先の方々にご協力いただき、振り返りの時間を設け、学生たちの学びを深めるプログラムとなりました。

多摩キャンパス周辺

プログラム	日 時	協力・場所	参加者	内 容
1 農業編	8月4日(火) 9:00～14:00	せせらぎ農園 (東京都日野市)	学生11・職員 1	コミュニティーガーデンで農作業
2 子ども編	8月5日(水) 14:00～17:00	みなみだいら児童館ぶらねっと (東京都日野市)	学生 5・職員 1	子どもと遊ぶ
	8月19日(金) 14:00～17:00		学生 5・職員 1	
3 福祉編① (子ども食堂)	8月8日(月) 13:00～17:00	ほっこり食堂 (東京都八王子市)	学生 3・職員 1	袋詰め、子どもの見守り、お弁当配布、衣類・雑貨・野菜の陳列等
	8月22日(月) 13:00～17:00		学生 4・職員 1	
4 福祉編② (視覚障がい者施設)	8月26日(金) 10:00～16:00	東京光の家 (東京都日野市)	学生 3・職員 1	利用者の作業準備や検査
	9月2日(金) 10:00～16:00		学生 3・職員 1	
5 環境編	9月12日(月) 13:00～16:00	フュージョン長池 (東京都八王子市)	学生13・職員 1	環境整備、里山保全作業



【ほっこり食堂】



【フュージョン長池】

後楽園キャンパス周辺

プログラム	日時	協力・場所	参加者	内容
1 子ども編	8月3日(水) 13:00～17:30	ワークスペースさきちゃんち (東京都文京区)	学生 7・職員 1	理科実験教室を企画運営
2 ブース出展編	8月6日(土) 9:00～16:00	文京区社会福祉協議会 (東京都文京区)	学生 7・職員 1	環境教育のブース出展、運営
3 環境編①	9月5日(月) 9:30～12:00	ちんじゅの森サロンほぐほぐ (東京都文京区)	学生 3・職員 1	畑や庭の手入れ
4 環境編②	9月12日(月) 10:00～12:00	坂道の会 (東京都文京区)	学生 11・職員 1	後楽園キャンパス周辺の植栽の手入れ、掃除



【文京区・環境教育ブース出展】



【ちんじゅの森】

● CVC 春ボラ

夏ボラに続き、多摩キャンパス周辺にて春ボラを開催しました。春ボラは学生スタッフが個々の興味のある分野別チームに分かれ、チームごとに企画の立ち上げから運営まで行いました。

学生目線で様々な企画を実施することができ、学生スタッフの成長へつながる機会となるとともに、参加した学生にとっても社会の課題を知り、行動へとつながる企画となりました。

プログラム	日時	協力・場所	参加者	内容
1 子ども&福祉編	2023年2月27日(月) 12:00～17:00	ほっこり食堂 (東京都八王子市)	学生 5	子ども食堂にて子育て家庭への食料や物品配布の手伝い
	2023年3月13日(月) 12:00～17:00		学生 6	
2 子ども&環境編	2023年3月11日(土) 14:00～17:00	みなみだいら児童館ぶらねっと (東京都日野市)	学生 4	児童館にてペットボトルを使った作品作りを企画運営
3 地域&居場所編	2023年3月12日(日) 9:00～16:00	愛宕団地再生プロジェクト (東京都多摩市)	学生 14	愛宕団地再生プロジェクトで団地内での居場所作り。地域住民とペンキ塗りやDIY
4 地域&お祭り編	2023年3月21日(火) 9:00～16:00	竹たままつり (東京都八王子市)	学生 9・職員 1	地域のイベント「竹たま祭り」でのブース出展、レモネードスタンドの運営等
5 福祉編	2023年3月27日(月) 10:00～11:30	日野市社会福祉協議会 多摩キャンパスまたはオンライン	学生 14・職員 1	学生対象の聴覚障がい者理解と手話イベントを企画運営



【愛宕団地再生プロジェクト】



【聴覚障がい者理解と手話イベント】

● クリーン大作戦

毎年恒例で春と秋に行っている多摩キャンパス周辺の清掃活動、今年度は無事に開催することができました。自治会の方々との交流を楽しみながら、自分たちが日常において使う道路やその周辺を清掃しました。

プログラム	日 時	参加者
クリーン大作戦・春の陣	5月29日(日) 9:00～11:00	学生21・職員1
クリーン大作戦・秋の陣	11月27日(日) 9:00～11:00	学生16・職員1

● チャリティーウォーク

「歩く国際協力 Walk in Her Shoes」(ケア・インターナショナルジャパン主催)に参加するかたちで、多摩キャンパス周辺と後楽園キャンパス周辺において2回のチャリティーウォークを実施しました。学生スタッフの声から生まれた企画であり、国際貢献ができ、大学周辺の地域を知り、途上国の現状を学ぶプログラムとなりました。

プログラム	日 時	参加者
八王子チャリティーウォーク	5月11日(日) 13:30～16:30	学生12・職員1
文京区チャリティーウォーク	5月29日(日) 13:30～17:00	学生20・職員1



【クリーン大作戦・春の陣】



【八王子チャリティーウォーク】



【クリーン大作戦・秋の陣】

● その他多摩キャンパス周辺活動

多摩市のコミュニティーセンターのひとつ「愛宕かえで館」の運営ボランティアの方が来室されたことをきっかけに、「中大生と遊ぼう！子ども謎解きラリー」と題したイベントを行いました。企画・準備から地域の皆さんと創り上げ、達成感のある企画となり、継続的に関わって活動をしていきたいと考えています。この活動を通じて、愛宕第二住宅団地再生プロジェクトとのつながりが生まれ、愛宕地域において有志で集まった学生たちが活躍をしています。

また、南鶴巻小学校PTAの方よりお話をいただき、小学生に向けた防災イベントを実施しました。学生スタッフ、チーム防災のメンバーなどを交え、団体を越えての企画・準備から当日の運営まで行いました。

そして、八王子市由木地域にて3年ぶりの開催となったイベント「大栗川キャンドルリバー」において、本学の学生も多くボランティアとして運営に参加しました。学生スタッフが積極的にに関わり、参加学生の取り纏め等の活躍をし、地域の方々とのさらなる交流へとつながることができました。

プログラム	実施日	場所	参加者	内 容
愛宕かえで館多世代イベント	8月20日(土)	愛宕かえで館 (東京都多摩市)	学生16・職員1	多摩市のコミュニティーセンターにて、地域の子ども向けイベントを企画・運営
南鶴巻小学校 防災イベント	9月14日(水)	多摩市立南鶴巻小学校 (東京都多摩市)	学生11・職員1	多摩市立南鶴巻小学校のPTA企画イベントとして、希望児童を対象とした防災イベント
かえで館まつり	10月8日(土) ～10日(月)	愛宕かえで館 (東京都多摩市)	学生17・職員1	多摩市のコミュニティーセンターが実施するお祭りイベントの運営手伝い
大栗川キャンドルリバー	11月12日(土) ～13日(日)	大栗川公園、由木緑道 (東京都八王子市)	学生20・職員1	八王子市由木地域のイベントにて、企画・運営の手伝い
愛宕第2住宅 団地再生プロジェクト	12月17日(土)	愛宕第2住宅 (東京都多摩市)	学生6	愛宕第2住宅の交流拠点にてマルシェ開催の手伝い、ボードゲームの企画・運営



【愛宕かえで館多世代イベント】



【南鶴巻小学校 防災イベント】



【大栗川キャンドルリバー】

③ 講座・説明会等

● 連続ボランティア講座

社会課題に取り組むボランティアを知り、自分のキャリアにどのようにつなげていくかを考えるきっかけとすること、また様々な立場から社会課題に取り組む方の話を聞き、自分のボランティアキャリアについて考えるきっかけとすることを目的に、全3回にわたる講座を実施しました。

①『公務員に求められる力』とボランティア活動、就活や公務員試験で問われること

日時	場所	講師	参加者
6月10日(金) 17:00～18:10	多摩キャンパス5号館・オンライン (Zoom)	滝井 元視氏 (キャリアコンサルタント)	学生 38 職員 1

②正しいよりも楽しく！防災活動の担い手を地域で育てるための秘訣とは

日時	場所	講師	参加者
6月17日(金) 17:00～18:10	多摩キャンパス5号館・オンライン (Zoom)	永田 宏和氏 (NPO 法人プラス・アーツ理事長)	学生 32 職員 1

③卒業生の活躍から学ぶ ボランティア経験をどのように社会で活かすか？

日時	場所	講師	参加者
6月25日(土) 14:00～15:20	オンライン (Zoom)	谷村 一成氏 (DAYS BLG! はちおうじ) 祖父江 なつみ氏 (株式会社ポードレスジャパン)	学生 30 職員 1



● 傾聴 & コミュニケーション講座

2021年度に引き続き、学生相談室カウンセラーの竹部先生に講師としてご協力いただき、気持ちのいい聞き方・話し方とはどういったものか、「傾聴」の基本姿勢とコミュニケーションのコツについて、グループワークを交えて学びました。

日時	場所	講師	参加者
7月9日(土) 13:30～15:30	多摩キャンパス フォレストゲートウェイ	竹部 友子氏 (学生相談室カウンセラー・臨床心理士)	学生 28 職員 1



● 日本における難民・入管問題を知る～私たちにできること～

日本国内にも「難民」がいること、当事者が置かれている過酷な環境、支援する方々の思いを知り、自分たちに何ができるかを考える場を提供することを目的とし、講演会を実施しました。卒業生組織である白門一新会および難民問題・外国人差別に取り組む団体であるBOND（バンド）～外国人労働者・難民と共に歩む会～との共催企画とし、BOND 顧問弁護士の指宿弁護士にご講演いただきました。当事者である学生2名のトークセッションが心に響いたとの感想をたくさんいただきました。

日時	場所	講師	参加者
12月10日(土) 14:00～16:00	多摩キャンパス 3号館・ オンライン(Zoom)	指宿弁護士による講演、学生スタッフ2名によるトークセッション、参加者の感想共有	68

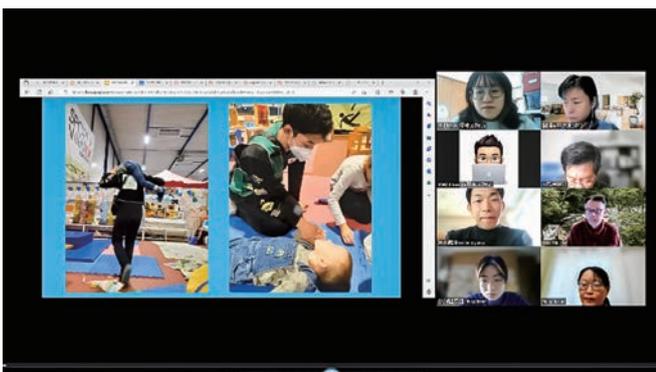


● ウクライナ難民支援報告会

ウクライナ避難民支援のためのボランティア活動「The Volunteer program for Ukraine」(日本財団ボランティアセンター主催のプログラム)に参加をした学生3名による報告会を実施しました。

ポーランド、オーストリアにおいて、ウクライナから国外に避難をしてきた人々への支援活動をした経験を広く伝えたいという学生の声から実施に至りました。ニュースだけでは分からないリアルな状況を学び、参加者同士、考えを深める機会となりました。今回は新たな試みとして附属高校生にも周知を行いました。

日時	場所	講師	参加者
2023年 2月12日(日) 10:00～11:30	オンライン(Zoom)	ウクライナの現状とプログラム説明、 参加した3名の学生が感じたこと、参加者の感想共有	学生 7 高校生 3 教職員 4



2. ボランティアセンター公認学生団体

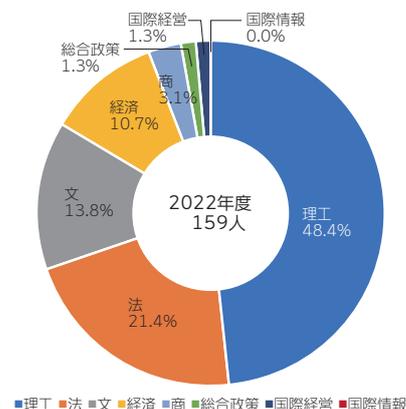
団体概要

● 公認学生団体について

中央大学学生部では、2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、継続的に被災地支援のボランティア活動を行う学生を支援しています。2012年4月からは、「被災地支援学生団体ネットワーク」を設立し、特定の狭い場所と継続的に関係を持つ学生団体を支援する体制へと移行しました。2017年4月からは、名称を「ボランティアセンター公認学生団体」と改め、被災地に限らず多摩地域や都内等キャンパス周辺での活動を継続的に展開する団体も公認し支援することとしました。

● 団体構成

チーム名	創設	活動地	活動内容
面瀬学習支援	2012年～	宮城県気仙沼市	子ども支援
チーム防災	2015年～	東京都日野市	地域防災の啓発
りこボラ！	2015年～	東京都文京区	中央大学生のボランティア支援
ふらっと真備	2018年～	岡山県倉敷市真備町	コミュニティ支援



スタートアップセミナー

例年、年度初めに、ボランティアセンター公認学生団体に所属する2年生以上の学生を対象にした「スタートアップセミナー」を実施しています。今年度は学生スタッフも加えて3年ぶりの対面開催としました。過去2年間は大学で集まる機会をもてなかったため、今回は学生同士で話す時間を多くとり、横のつながりを持てるようにすることを意識してスケジュールを組みました。

他団体のメンバーと話すことで刺激になる、学びにつながるといった感想が多く上がり、これまでは意識することなくボランティアセンターでできていた団体間のコミュニケーションが難しくなっており、コロナ前後での違いを強く感じるセミナーとなりました。

内容	日時	参加人数
2022年度の体制、各団体の現状、2022年度の活動、フィールドノートについて、組織を動かすことについて	5月7日(土) 14:00～16:00	学生 30 教職員 3

決起集会

ボランティアセンター公認学生団体・4団体および学生スタッフを対象に、決起集会を行いました。新入生がそれぞれの団体に加わり少し落ち着いた段階で、公認学生団体としての横のつながりを創り、現時点で必要だと思われる議題を設定しました。

1, 2年生に対しては、個人としての活動目標を設定して自団体・他団体と交流する場、3, 4年生に対しては、現状の課題を洗い出し、共有し、解決方法を考える場となりました。

内容	日時	参加人数
第1部：全体会、各団体の紹介、顧問の紹介 第2部：(新入生対象) 事務連絡、フィールドノートの説明、目標設定、交流 (2～4年生対象) これまでの活動での悩みを洗い出し、解決策を考えるワークショップ	7月9日(土) 15:30～17:00	学生 31 教職員 2

ボラセン総会議

毎年卒業前に行うことが恒例となっている、公認学生団体の4年生による下級生たちに向けたプログラムを実施しました。今年は、オンラインと教室でのハイブリッド形式で行いました。

卒業を控えた4年生からの体験談を共有し、事前のアンケートで決めた内容についてグループに分かれて話し合いをする場を設けました。普段のミーティングでは話す機会のない、活動について抱える悩みや葛藤を共有し、団体の垣根を越えて考える機会となりました。

内容	日時	参加人数
4年生より体験談の共有、テーマごとにグループでの話し合い テーマ ①活動のモチベーション、ボランティアと他活動との両立 ②メンバーの巻き込み方、引継ぎのやり方 ③メンバーの巻き込み方、引継ぎのやり方 ④活動を通して成長したこと、キャリア	2023年 3月22日(水) 14:30～16:45	学生 17 教職員 1

①被災地・復興支援活動

面瀬学習支援 ～共に学び、共に描く、ふるさとの未来図～

団体理念

「学校とも家庭とも違う、子ども達のための第3の居場所をひらく」

面瀬学習支援は、復興のために大人が慌ただしく過ごすようになった中で、地域の方の「子どもが子どもらしくなくなった」という言葉がきっかけで発足し、先生や親や友達のような立場でもない、お兄さん・お姉さんのような「ナナメの関係」を築くことで、子どもの本音を拾う居場所となることを目指しています。

発足から10年以上が経過し、改めて現地の方に聞き取り調査を行った結果、地区の様々な課題や子ども達への支援の重要性を知ったことで活動の必要性を再確認し、今後は「子ども」を軸に捉えた活動へと発展させ、理念の根幹にある居場所をつくるために活動していきます。

団体構成

35人（4年生16人、3年生6人、2年生11人、1年生2人）

活動

私たちは宮城県気仙沼市面瀬地区の小学生を対象に、宿題指導・レクリエーション企画・自由遊びを中心とした居場所支援活動を行っています。普段の活動では、週1回程度のミーティングを開いています。現地では、コロナ自粛以降から思うような活動ができず、団体としても低迷期にありました。2022年度の冬活動では、宿題指導やスノードームづくり、手作りかるた大会などの企画を通して多くの子どもたちと交流することができ、少しずつ活気を取り戻してきています。

活動	内容	実施日	参加人数
夏活動	スタディーツアー、学習支援、川遊び、縁日	8月17日（水）～8月20日（土）	学生22、教員1
冬活動	スタディーツアー、学習支援、スノードーム作り、カルタ大会	12月26日（月）～12月29日（木）	学生23、教員1
春活動	学習支援、ふれあい農園外遊び	2023年3月28日（火）～3月30日（木）	学生13、職員1

境 太陽（面瀬学習支援 2022年度代表・商学部3年）より

気仙沼の方々や、団体のメンバーの温かさを、肌で感じる事ができた1年間でした。

コロナウイルスが少しずつ落ち着いてきた今年度は、夏冬春の3回、現地へ赴いて活動することができました。活動場所の面瀬地区では、子どもたちと触れ合うだけでなく、小学校の先生など地域の方々や直接お話しすることができ、普段の子どもたちの様子や、面瀬地区が抱える問題などを共有しました。現地での活動後は、「私たちは面瀬地区の子どもたちや地域の方々に対して何が出来るか」などを綿密に話し合い、今後の活動方針を決めていきました。その過程で、団体のメンバーのみんなとの絆も深めることができたと思います。

また、面瀬地区の皆様のお言葉や、子どもたちの愛しい笑顔が学生一同の支えになりました。活動に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

来年度も地域の皆様にご貢献できるように、精進してまいります。



【夏活動・縁日】



【冬活動・スノードーム作り】



【春活動・学習支援】

ふらっと真備 ～真備の経験を未来へ。水害を伝える！～

団体理念

ふらっと真備は、西日本豪雨災害で被災した岡山県倉敷市真備町を拠点にした団体です。西日本豪雨の発災から今まで、主に現地の建設型仮設住宅でコミュニティ支援を行ってきた経験を生かし、水害の危険性や事前準備の大切さを広めることを目標に活動しています。2年前までは「支え合いの真備を共に育む」という理念のもと活動していましたが、現地の復興が進んできたことを受けて「水害を伝える」という理念に変更いたしました。今後、ふらっと真備の新しい活動を確立していけたらと考えています。

団体構成

6人（4年生 3人、3年生 2人、1年生 1人）

活動

長期休暇を利用して現地へ赴き、仮設住宅にて個別訪問や地域の方々との交流によるコミュニティ支援活動に取り組んできました。コロナ禍で現地へ行くことができなかった期間にも、オンライン交流会や手紙を通して交流を続けました。2021年度の冬に約2年ぶりの現地活動をした際に、現地の復興が進んできていると感じたことをきっかけに、2022年度は、団体の活動内容の方向性を話し合う時間を多くとり、「水害を伝える」という活動ヘシフトしていくことを決めました。

これまでの真備の方々とのつながりをもとに、水害を伝えるためのイベント等を企画し、開催することで、自分たちの学びを深めるとともに、多くの方に水害について知っていただける機会を創っていきます。

活動	内容	実施日	参加人数
スタディーツアー	新メンバーに真備町の被害等の背景および現状を理解してもらうことを目的としたスタディーツアー、現地ボランティアのお手伝い	6月25日（土）～6月26日（日）	学生 5 教職員 2
学生が伝える西日本豪雨 ～あなたの備えは大丈夫ですか？～	水害を伝えるためのオンラインイベント、真備町出身のゲストスピーカー2名より水害の経験から学んだことのお話を伺う、防災ゲーム「クロスロード」を行い、防災への備えについて学ぶ	2023年3月20日（月）	学生 10 職員 1

大内 菜摘（ふらっと真備 2022年度代表・経済学部3年）より

2022年度はふらっと真備にとって新たな一歩を踏み出すことができた年でした。今まででは現地での活動を大切にしてきましたが、復興が進んできた真備町と向き合い、今私たちにできることを考え直し、「水害を伝える」という活動方針を固めてきました。

これという大きな活動はできていませんが、ふらっと真備が歩んでいく方向性を決めることができたのは大きな成果だったと思います。

新たなふらっと真備として初めての外部に向けた活動として、3月に水害を伝えるためのオンラインイベントを実施しました。私たちと同世代の被災者の方に当時の経験をお話していただけるようお願いし、準備段階からゲストスピーカーの方と関わることで私たちにとっても良い刺激となりました。イベントの企画・運営を通して、活動のモチベーションを上げることができました。



【スタディーツアー】



【写真洗浄】



【オンラインイベント】

②地域活動

チーム防災 ～「学生×地域×防災」で自助・共助の力を高める～

団体理念

「災害時に生き延びる、そして災害後に安心して暮らす」という最終目標に向かって、チーム防災は「防災活動を通じて学び合い・活かし合い・自助共助の力を高め合う」という理念のもと活動しています。東日本大震災の被災地にボランティアで参加していた先輩方が東京での防災活動の必要性を感じ、チーム防災は発足しました。その意思・理念は今もなお団体内で大切に受け継がれています。今後も地域の方々と触れ合い、自分の住む地域で起こりうる災害について一緒に考えることで、微力ながら防災の啓発を進めていきます。

団体構成

44人（4年生10人、3年生16人、2年生13人、1年生5人）

活動

私たちの団体では「防災の啓発」という少し変わったボランティア活動を行っています。主に日野市の様々な施設を訪問し、災害に関する授業やオリジナルゲームを実施してきました。今年度はチーム防災に活動依頼をいただく機会が多く、私たちの活動や想いが地域の方々に認識され受け入れていただけていると感じました。活動依頼をいただいたおかげで、今まで取り組めていなかった障がい者施設や、特別支援学級の児童の方に向けた活動を行う機会をいただくことができ、団体として活動の幅が広がる一年となりました。

また、年度末には団体設立のきっかけとなった東日本大震災について改めて学ぶべく、東北スタディーツアーを実施しました。現地での学び、感じたことを来年度の活動に活かし、引き続き防災の啓発活動に取り組んでいきたいと思っております。

活動	内容	実施日	参加人数
府中第一中学校 防災授業	特別支援学級での防災授業	7月9日(土)	学生 8 職員 1
カエルキャラバン	イオンモール多摩平の森にて防災啓発活動	8月18日(木)	学生 5
放課後デイサービスシエル 防災啓発活動	障がい児向け放課後デイサービス「シエル」の教室にて防災すごろく・非常持ち出し袋競争等を通した防災啓発活動	8月24日(水)	学生 9 職員 1
イオンモール多摩平の森 防災縁日	イオンモール多摩平の森にて災害に関する知識とお祭り要素を組み合わせた防災縁日（防災おみくじ、防災さかな釣り等）を実施	9月18日(日)、19日(月)	学生 5
日野市民でつくる防災・減災シンポジウム	「災害時要配慮者の避難」をテーマに日野市はいざというときどのような配慮が必要なのかを日野市民の皆さんと議論	10月9日(日)	学生 6
日野市総合防災訓練	日野市が実施する展示や体験を交えた防災訓練に運営として参加、日野市立第六小学校にて毛布担架のブースを担当	10月22日(土)	学生 7
日野台高等学校にて 防災に関する講話	高校生に向けて、熊本豪雨で学んだ教訓について講話	11月2日(水)	学生 1
白門祭出展	防災クイズに答えながら進んでいく、手作り迷路を出展	11月5日(土)、6日(日)	学生 12
第1回ながぶさこどもまつり	八王子市主催のながぶさこどもまつりにて、防災釣りゲーム、紙食器作りのブースを出展	12月3日(土)	学生 6
南平高等学校 避難所運営ゲーム HUG	東京都立南平高等学校の1年生の授業にて避難所運営ゲーム HUGを実施するあたり、ゲームの補助サポート	12月21日(水)	学生 4
豊田小学校 初動避難訓練	日野市立豊田小学校で実施される初動避難訓練の運営サポート	2023年2月25日(土)	学生 6
東北スタディーツアー	宮城県内にある震災関連の施設を訪問、語り部の話も聞くことで改めて東日本大震災について学ぶ	2023年 3月17日(金)～20日(月)	学生 10 職員 1



【小学校での防災訓練】



【中学校での防災イベント】



【高校での防災啓発活動】

鈴木 健心 (チーム防災 2022 年度代表・総合政策学部 2 年) より

2022 年度は対面での活動が徐々に復活し、防災啓発の重要性やボランティアの楽しさ・難しさを改めて実感する年になりました。

私がチーム防災の啓発活動を通じて感じたことは人々の災害への意識の低さです。だからこそ私たちは、ただがむしゃらにボランティアをするのではなく、しっかりと自分の頭で考えてボランティアをすることが大切なのだと思います。「どうしたら人々は防災に興味を持ってくれるのか」「どうしたら人々は楽しみながら防災の知識を学んでくれるのか」このことを考えながらボランティア計画を立てることで初めて私たちの活動・理念は達成できます。

また、私たちの活動が様々な人たちの支えがあるからこそ成り立っていることも忘れてはいけません。これからも災害を学び、広めていく人間として自分の発言に責任を持ちつつ、新しい防災啓発の形をメンバーと共に模索していきます。



【特別支援学級シエルでの活動】



【活動後の集合写真】



【日野市総合防災訓練】



【カエルキャラバン】



【東北スタディーツアー】



【東北スタディーツアー】

りこボラ！ ～理系でもボランティアを日常に！～

団体理念

私たちが掲げる活動理念は「理系でもボランティアを日常に！」です。これは、りこボラ！が設立された8年前、後楽園キャンパスにボランティア団体がなかったところに、理系でもボランティアを日常的にできる環境を作りたいという思いが込められたものです。さらにその根底には、私たち1人1人がボランティアの話をするのが特別でなくなり、日常的にボランティアの話が出てくるような、実際に活動したからこそ得られる貴重な体験談を分かち合えるような、そんな環境を作りたいという思いも込められています。私たちはこの理念を掲げて日々活動に励んでいます。

団体構成

74人（3年生9人、2年生29人、1年生36人）

活動

- ① ボランティア活動…ごみ拾い、子ども向けの理科実験、学習支援、街路樹の手入れ etc
- ② イベント企画…様々な分野のボランティアを1から企画、他大学とのコラボ企画、大学祭への参加など
- ③ ボランティア紹介…いろいろな分野、初心者～経験者まで様々な方のニーズに合わせたボランティア情報を理工学部生に発信
- ④ ボランティアセンターの学生スタッフとしての役割…多摩のボランティアセンターと後楽園キャンパスの学生の架け橋になるための活動

活動	内容	実施日	参加人数
交流会(オンライン)	りこボラ！活動内容の説明会	4月1日(金)	学生 125
第1回ボラカフェ(オンライン)	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	4月10日(日)	学生 27
第2回ボラカフェ(オンライン)	雑談形式で行う体験談の共有、懇談会	5月8日(日)	学生 7
りこボラ！クリーン大作戦・春の陣	後楽園キャンパス周辺の清掃	5月8日(日)	学生 29
クリーン作戦「ごみマップを作ろう！」	後楽園キャンパス周辺の清掃、ごみマップの作成	5月22日(日)	学生 20
夏合宿	野尻湖セミナーハウスにて今後の活動についてミーティング	9月15日(木)～17日(土)	学生 26 職員 1
ボラカフェ 東洋大学コラボ	雑談形式で行う体験談の共有・懇談会	10月9日(日)	学生 8
りこボラ！&立教大学YMCAコラボ企画 ゴミ拾い	立教大学 YMCA と合同で、立教大学 池袋キャンパス周辺から豊島清掃事務所のゴミ拾い	10月15日(土)	学生 8
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	10月23日(日)	学生 18
シニア対象スマホ教室	シニア世代を対象にスマホ・LINEの使い方を教え、世代間交流を図る	10月30日(日)	学生 5 職員 1
大学祭出展(後楽園キャンパス)	ウクライナ支援のための上映会、募金活動	11月5日(土)、6日(日)	学生 46 職員 1
活動見本市2022	文京区社会福祉協議会主催「活動見本市2022」に登壇	11月19日(土)	学生 4
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	11月20日(日)	学生 6
ボラカフェ	雑談形式で行う体験談の共有・懇談会	11月24日(木)	学生 23
礪川マラソン 運営ボランティア	文京区礪川地区で行われた第46回礪川マラソンの運営手伝い	11月27日(日)	学生 17
企画をつくろうワークショップ①	社会課題を解決するために自分の「何かしたい」企画を創り上げ、実行するまでの過程を学ぶ	12月7日(火)	学生 13 職員 1
企画をつくろうワークショップ②	社会課題を解決するために自分の「何かしたい」企画を創り上げ、実行するまでの過程を学ぶ	12月12日(月)	学生 7 職員 1
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	12月18日(日)	学生 5
冬合宿	富浦臨海寮にて今後の活動、来年度の体制についてミーティング	2023年2月8日(水)～10日(金)	学生 30 職員 1
坂道の会 後楽園キャンパス周辺の清掃	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	2023年2月19日(日)	学生 9
りこボラ！&立教大学YMCAコラボ企画 ゴミ拾い	ひつじぐも、立教大学 YMCA と合同で、立教大学 池袋キャンパス周辺から豊島清掃事務所のゴミ拾い	2023年2月25日(土)	学生 9
ちんじゅの森	「ちんじゅの森」にて田畑の整備、ウッドデッキの塗装、古い樽の解体。日本古来の伝統や文化の大切さを実感し学ぶ	2023年3月4日(土)	学生 9
りこボラ！×Project COOP合同ゴミ拾い @多摩キャンパス	Project COOP と合同で多摩キャンパス周辺のゴミ拾い	2023年3月12日(日)	学生 18
りこボラ！×Project COOP合同ゴミ拾い @後楽園キャンパス	Project COOP と合同で後楽園キャンパス周辺のゴミ拾い	2023年3月13日(月)	学生 24
文京区柳町小学校イベント	文京区立柳町小学校にて子どもたちと一緒に段ボールでプラネタリウム作り、鑑賞会	2023年3月18日(土)	学生 18 教員 1

活動	内容	実施日	参加人数
スマホ教室サポーター説明会	文京区ロードサポート「坂道の会」と後楽園キャンパス周辺の清掃、植栽の手入れ	2023年3月19日(日)	学生 5
シニア対象スマホ教室 文京区民センター	シニア世代を対象にスマホ・LINEの使い方を教え、世代間交流を図る	2023年3月20日(月)	学生 4
シニア対象スマホ教室 向丘町会	シニア世代を対象にスマホ・LINEの使い方を教え、世代間交流を図る	2023年3月23日(木)	学生 4

小松 莉子 (りこボラ！2022年度代表・理工学部3年) より

2022年度は、感染症対策に関する活動制限もこれまでよりは収まったため、ボランティア団体らしさを取り戻すために再出発しました。コロナ禍でも比較的实现することができたゴミ拾いとどまらず、地域の方々からのお声かけにより、高齢者の方向けのスマホ教室、植栽の手入れ、地域のスペースをお借りしての科学実験教室などが実現しました。白門祭ではウクライナへの募金に挑戦し、たくさんの方のご協力により寄付を実現することができました。

活動の幅を増やすことができた1年となったことを実感していますが、これは団体メンバーの「もっとボランティアをしたい！」という気持ちを原動力にすることができたためだと思います。また、様々な企画を実現するための話し合いも対面で実施できるようになり、コミュニケーションも活発化し、りこボラ！らしさを追求することができた1年になりました。



【新入生オリエンテーション】



【クリーン大作戦・春の陣】



【クリーン作戦・ごみマップを作ろう！】



【夏合宿】



【活動後の集合写真】



【大学祭出展・ウクライナ支援】



【スマホ教室】

3. 学生スタッフ ~多様な個性とつながり、新たな世界に挑戦する~

ボランティアセンターでは、2021年度より学生スタッフ制度を開始しました。
第1期生は10人でスタートし、今年度は第2期生9人が加わり、19人での活動を行いました。

団体構成 19人 (4年生 3人、3年生 5人、2年生 5人、1年生 6人)

理念 学生スタッフは、本学の学生がボランティアに興味を持ち、一步を踏み出すためのきっかけを創り出す存在です。学生が様々な社会課題に目を向け、何ができるかを考え行動にうつすことで、その解決を目指します。ボランティアを通して、自らも楽しみ成長しながら社会と学生のつながりを築き上げていきます。



学スタ五か条

- 其の一、学生主体**
それぞれが率先して自分の想いを行動に移すべし
- 其の二、社会課題に触れる**
社会課題に触れて、多様なバックグラウンドを学ぶべし
- 其の三、楽しむ**
人との繋がりを大切に、活動を楽しむべし
- 其の四、振り返り、言語化**
経験を言語化し、次に生かすべし
- 其の五、魅力発信**
人とつながり、新しい価値観を得る喜びを学生に伝えるべし

中央大学 (C)
ボランティア (V)
センター (C)
の頭文字と同じです◎



活動

- ① ボランティアプログラムの企画・運営
学生主体でボランティアの企画・広報、イベントの調整などを行います。
例えば、連続ボランティア講座の司会、夏ボラの企画があります。
- ② 地域ボランティア活動の推進
キャンパス周辺において、地域の方々と連携をしながら、企画から当日の準備・運営まで行っています。
- ③ ボランティア活動を推進する活動全般
①、②の活動を盛り上げるための取り組みです。具体的には、SNSでの広報や白門祭での出展があります。
今後は新たな分野別のプロジェクトチームを通じて、中大生との架け橋となれるよう、活動しています。

活動	内容	実施日	参加人数
白門祭出店	写真展、ボランティア活動をしてきた4年生と学生スタッフによるトークセッション	11月5日(土)、11月6日(日)	学生 19
企画を創ろうワークショップ	社会課題を解決するために、自分の「何かしたい」企画を創り上げ、実行するまでの過程を学ぶ	11月25日(金)	学生 12 職員 1
春合宿	富浦臨海寮に宿泊し、来年度の体制やキャンパス間の関わり等、今後の活動について話し合い	2023年2月24日(金)～2月26日(日)	学生 10 職員 1

大野さくら(学生スタッフ2022年度代表・文学部3年)より

2022年度は、「どのようにしたら、ボランティアに興味をもつ学生が増えるだろうか」「興味をもつだけでなく、実際にボランティアに参加してもらうにはどのようにしたら良いだろうか」と悩むことができた1年でした。ボランティアやイベントに運営側として携わる中で、ボランティアセンターの存在を知らない人や興味があっても行動になかなか移せない人が多いことを実感していたので、活動をする度に「初めてボランティアに参加しました」「また参加したいです」という声を聴くと、ボランティアの輪が広がっていると、嬉しく思うと共に、ボランティアを続けやすい環境づくりも大切にしたいと考えてきました。

1年目の学生スタッフは、中央大学のボランティアを盛り上げるために、団体の方向性や活動体制を作ることが一番の課題でした。しかし、2年目の学生スタッフは、イベントの内容作り・司会・ファシリテーション、広報活動、勉強会、ボランティアに参加するなどの経験を生かし、ボランティアセンターだけではなく、地域イベントの企画・運営にも挑戦しました。

2023年度も、様々な社会課題に取り組み続ける中で、他キャンパスと連携したり、新たな分野にも足を踏み入れ、活躍の幅を広げていきます。



【白門祭出展】



【集合写真】



【春合宿】

協定・助成金 / メディア掲載

協定(敬称略)

名 称	対象団体/活動
公益財団法人 日本財団ボランティアセンター	ボランティアセンター
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団	ボランティアセンター

日本財団ボランティアセンター様には、講座およびスタディーツアーの講師謝礼金、ボランティアセンター主催の被災地活動の学生交通費や宿泊費等を助成していただきました。対面活動が戻るなか、現地でなにかしたいという学生の活動をご支援いただき、大変ありがたく感じております。

朝日新聞厚生文化事業団様には、宮城県伊具郡丸森町の冬ボラプログラムにおいて、引き続き学生の交通費・宿泊費を助成していただきました。改めて御礼申し上げます。

助成金(敬称略)

名 称	対象団体/活動
公益財団法人 電通育英会	ボランティアセンター

電通育英会様には、公認学生団体の現地活動における交通費や宿泊費を助成していただきました。2年間にわたる助成に改めて御礼申し上げます。

メディア掲載

新聞・テレビ等 掲載

メディア名	内 容	掲載 / 放送日
日本財団ボラセン活動報告 2021	(ふらっと真備) 学生の力を社会のために全国の大学との連携事業 [中央大学ボランティアセンター 岡山県倉敷市での活動] (学生スタッフ・大野さくらさん) 学生インターン	2022年3月
Yahoo! ニュース	(チームくまもと) 【熊本地震から6年】コロナ禍で現地へ行けない…… 学生ボランティア団体が直面した遠隔支援の難しさ	2022年4月14日
地域かわら版 Vol.28 (日野市)	(チーム防災) 日野市で活躍する若者たち	2022年5月1日
朝日新聞 夕刊	(ふらっと真備) 風化させぬ 「つながり」やっぱり大切、 集会所で・LINEで 西日本豪雨4年、300人超犠牲	2022年7月6日
東北放送 (tbc)	(丸森町冬ボラ) 「整備されて中に光が入ってくれたらうれしい」 中央大生が放置された竹林の手入れ	2022年12月26日
広報まるもり 736号	(丸森町冬ボラ) ご支援に感謝 町内各所でボランティア活動を行っていただきました	2023年2月1日
トウキョウもっと! 2 元気計画研究所 TOKYO MXTV	「もっと地域が活性化する東京になるために!」というテーマのひとつとして、チーム防災の日野市立豊田小学校での初動避難訓練の様子とメンバーへのインタビュー	2023年3月18日

「草のみどり」(中央大学の最新情報を伝える父母連絡会機関誌) 掲載

Vol.	掲載者	内 容	掲載月
331	菅野 励盛度 (商・チーム女川)	私のボランティア～女川町、チーム女川を通じて～	2022年5月
332	山本 あかり (国際経営・面瀬学習支援)	コロナ禍に模索したボランティア活動の意義	2022年7月
333	服部 武 (法・チーム防災)	状況や立場を変えて行ったボランティア活動への思い	2022年9月
334	大内 尚人 (商・はまぎくのつぼみ)	コロナ禍での活動で見たこと～はまぎくのつぼみ～	2022年11月
335	保崎 翔太 (経・チームくまもと)	私のボランティア経験から ～団体収束、コロナ禍。貴重な3年間を通して～	2023年1月
336	辻 七夕香 (商・チーム女川) 内山 晴太 (法・はまぎくのつぼみ) 新井 晴乃 (理工・ふらっと真備)	【座談会】 ボランティアで第2の故郷と出会いました	2023年3月



発行日：2023年5月
発行者：中央大学ボランティアセンター
連絡先：TEL 042-674-3487
E-mail：chuo-volunteer-grp@g.chuo-u.ac.jp